

# 6年産

# ほうれん草栽培基準

目標粗原反収	760kg
目標製品反収	760kg
播種時期	3月下旬～9月上旬
収穫時期	5月上旬～10月下旬

## 【土壌診断値に基づいた施肥内容 10a当り(坪当り)】

有効態磷酸値 (土壌100g)	肥料名	施用量(kg)		要素量(kg/10a)		
		kg/10a	(kg/坪)	N	P	K
20～30mg	NS604	60.0	(0.20)	9.6	6.0	8.4
30mg以上	NS248	45.0	(0.15)	9.0	1.8	3.6
-	硫安	43.0	(0.14)	9.0	-	-

## 【EC値に基づいた窒素施肥量(10a当り)】

EC値	0.00～0.25	0.25～0.50	0.50～0.75	0.75～1.00	1.00以上
窒素量	0.0	3.5	7.0	10.5	14.0
施用量	9.0	5.5	2.0	0.0	0.0

## 【栽植密度(坪当り)】

畦間	株間	株数	シーダーテープ
20cm	5cm	333	16.6m
21cm	5cm	317	15.9m
22cm	5cm	303	15.2m
23cm	5cm	290	14.5m

品種	べと病抵抗性	2月 下	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
スーパーアリーナ	R-1～12	ハウス準備	播種			防除・手取り除草			収穫			播種			防除・手取り除草			収穫								
			播種			防除・手取り除草			収穫			播種			防除・手取り除草			収穫								
			播種			防除・手取り除草			収穫			播種			防除・手取り除草			収穫								
晩抽 サマースカイ	R-1～7 9,11,13, 15,16	ハウス準備	播種			防除・手取り除草			収穫			播種			防除・手取り除草			収穫								
			播種			防除・手取り除草			収穫			播種			防除・手取り除草			収穫								
			播種			防除・手取り除草			収穫			播種			防除・手取り除草			収穫								
ネオサイクロン	R-1～12	ハウス準備	播種			防除・手取り除草			収穫			播種			防除・手取り除草			収穫								
			播種			防除・手取り除草			収穫			播種			防除・手取り除草			収穫								
			播種			防除・手取り除草			収穫			播種			防除・手取り除草			収穫								
トリトン	R-1～9 11～15	ハウス準備	播種			防除・手取り除草			収穫			播種			防除・手取り除草			収穫								
			播種			防除・手取り除草			収穫			播種			防除・手取り除草			収穫								
			播種			防除・手取り除草			収穫			播種			防除・手取り除草			収穫								

※播種前に十分灌水し、出芽～本葉4枚と収穫前10日間での灌水は避ける。

## 【農薬使用基準】

項目	適用病虫害名	農薬名	使用濃度	10a当り薬量	適正使用基準		RAC コード
					使用時期	回数	
殺菌剤	立枯病(ピシウム菌)	タチガレン液剤	500倍	200ml	は種時 (散布水量:3L/平方m)	土壌 灌注 1	F:32
	立枯病(リゾクトニア菌)	バシタック水和剤75	750倍	133g	は種時～子葉展開期 (散布水量:3L/平方m)	土壌 灌注 1	F:7
	べと病	ピシロックフロアブル	1,000	100ml	前日	2	F:U17
ランマンフロアブル		2,000	50ml	3日	3	F:21	
殺虫剤	ネキリムシ類・ホウレンソウケナガコナダニ	フォース粒剤	-	全面9kg	は種前	1	I:3A
	タネバエ	ダイアジノン粒剤5	-	作条6kg	は種時	1	I:1B
	アブラムシ類	アドマイヤー顆粒水和剤	10,000	10g	前日	2	I:4A
	ハスモンヨトウ・ホウレンソウケナガコナダニ	アフーム乳剤	2,000	50ml	3日	2	I:6
	ハスモンヨトウ・マメハモグリバエ ホウレンソウケナガコナダニ アシクロハモグリバエ	カスケード乳剤	4,000	25ml	3日	3	I:15
	アザミウマ類・アシクロハモグリバエ	スピノエース顆粒水和剤	5,000	20g	前日	2	I:5
	ホウレンソウケナガコナダニ	ディアナSC	2,500	40ml	前日	2	I:5
	ミナミキイロアザミウマ・アシクロハモグリバエ	パダンSG水溶剤	1,500	66g	7日	2	I:14
	アザミウマ類・アシクロハモグリバエ アブラムシ類・ホウレンソウケナガコナダニ	リーフガード顆粒水和剤	1,500	66g	7日	2	I:14

※パダンSG水溶剤の高温時の使用は、薬害が発生しやすいので注意する。

## 【土づくりと防除および栽培技術】

1.堆肥(上限3t/10a)。有機質資材は前年秋に施用する。	4.紫外線カットフィルムの使用により病虫害の発生を軽減する。	8.生育中の水分を蓄えるため、播種前に十分な灌水を行う。
2.最初の作付け前に土壌診断を実施し、pH6.0～6.5、有効態磷酸20～30mg/100gを目標に改良する。	5.害虫の侵入を防ぐため、防虫ネットを設置する。	9.夏期高温時は、生育適温(15～20℃)を保つため、遮光資材を使用する。
3.作付け前にECを測定して施肥量を決定する。	6.作型毎に品種を選定し病害を抑制する。	
	7.上記4、5により農薬の使用を削減する。	